

令和5(2023)年度 児童館事業年間活動報告書

5

参加人数

活動名	実施回数	参加人数										内 容	成 果 と 課 題	
		乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					合計
			自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人			
将棋クラブ	12		57	19	29	8					1	114	駒の並べ方や動き方を覚えながら、友だちと対戦する。	・将棋に興味・関心をもつ子が多く、人気があるクラブ。メンバーを交代しながら対戦して交流する機会になっている。 ・指導ができる職員があまりいないため、初心者への配慮が十分できないことがあった。メンバー内で教え合ったり、どうぶつしょうぎなどで動かし方を覚えてもらったりした。
きりえクラブ	12		21	17	31							69	2年生以上対象。デザインカッターを使用して、カッターの使い方を身につけたり、級によって難易度の違う絵を切り抜いて、作品を完成させる。	・昨年度から引き続き、登録する子たちが上達している。ケガのないよう、最初に約束をしっかり伝えることで、自分たちで気をつけながら進められていた。 ・回を重ねるごとに、難しい作品にも取り組むことができた。作品を地域に掲示することで、やる気につながっている。級の中でも、原画の難易度に差があるため整理が必要。
ecoクラブ	27		43	127	1	19			1			191	減肥や水やり作業で、夏はゴーヤのグリーンカーテン作り、春はチューリップを育てる。また、1年を通してペットボトルキャップの仕分け・発送をする。	・上に触れ、植物を育てて収穫していくことに楽しさを感じている子もいる。平日の放課後に開催することで気軽に参加しやすい。 ・キャップの回収・仕分け方、配達先や費用など児童館だけで行うのが難しくなってきた。
中学生企画	11						6					6	夕方5:15～中学生たちと何をやりたいか相談し、ミサンガや工作などを実施。	・職員とゆっくり過ごせることを楽しみにしている。 ・隣に山科青少年活動センターがあるためか、中学生の利用が少なかった。利用者は固定化している。何がしたいか相談するが、なかなか決まりにくく職員からの提案で決めることが多かった。
おりがみクラブ	22		28	152								180	子どもと相談しながら、折るものを決めて取り組む。子どもたちの作品は、館内や地下道連絡通路内の掲示板に飾る。また、地域の高齢者福祉施設にプレゼントする。	・同じものを何度か折ることで、折り方の図を見ながら自分で折れる人が多かった。最後に、飾りや作品に仕上げを持って飾ることや館外に掲示などすることで、達成感にもつながっていた。 ・学校終わりの放課後時間に行っていたので、場所の確保が難しかった。
プレゼント工作	2	1	12	11	3	1				4		32	母の日工作、敬老の日になんで、大切な人へのプレゼント作りやメッセージカードを書く。	・ブラバンづくりと手形でカード作りを行う。自分にプレゼントをする人や両親、祖父母へ向けて作っている様子があった。定員数や日時などで工夫が必要。
5時から卓球	84				169		79			1		250	夕方5:00頃～小学生高学年が集まり卓球を楽しむ。子どもが少ない時は職員が一緒に行う。	・高学年の利用が増えてきた取組。一緒に卓球をするために予定して来館する子がいた。 ・卓球部の中学生が遊びに来て審判したり、教える姿があり交流することもあった。

春のお楽しみ企画会議	4		3	8	3	10					24	子どもたちが、児童館でやりたいことを話し合って何をするか決めて準備をする。	・高学年がまとめて進んでいた。自分の意見だけでなく、相手の意見を聞き、いいものになりたいという姿勢がみられた。	
一輪車であそぼう	9		24	48	14	9					5	100	遊戯室で乗り方の練習を通して一輪車遊びをする。	・一輪車が、日々の遊びではできないため、一輪車を目的に来館する子どももいた。事前に約束事を決め掲示しておくことで、練習中の子も上手に乗りこなす子ども互いに安全に遊ぶことができていた。 ・低学年向けの一輪車が足りず、順番待ちが増えてしまった。解消するため、一輪車の台数を増やすなど対策を検討する必要がある。
アイロンビーズコースターを作ろう	1		11	6	3							20	申込制。アイロンビーズでコースターを1人1個作る。	・集中して素敵なものに仕上げていた。贈りたい人を思っ作っている子もいた。 遊び場所などの問題から受け入れの人数を決めるのに悩んだ。
モシカメクラブ	10		30	10	21		2				1	64	初めての人は、けん玉の基本から覚えてもらい、曲に合わせてモシカメの練習をする。モシカメの記録会や3月に発表会を行った。	・ゆったりした中で行えた。いろんな曲で練習し、モシカメ記録会やモシカメ発表会も行う。
春のお楽しみ企画	1		8	1	5	3						17	子どもたちが決めた内容で役割分担や進行をする。	・「すいかボールわり」を行う。参加した子どもたちから大好評だった。 ・実行委員も設置や司会、片付けまで上手にしていた。また、実行委員をやりたいと言う気持ちの子も多かった。
七夕飾り作り	4		2	68	1	14						85	自由参加で笹飾りや短冊を作る。願い事を書いたり、折り紙などで飾りを作り、大きな笹に飾るお手伝いもできる。	・今年度、区社協さんを通して地域の方から笹をいただく。アイスの飾りが好評だった。玄関前の大きな笹に飾り付けると、来館された乳幼児親子やお迎えの保護者の方にも見てもらえた。 ・スペースが十分に確保できず、参加者に待ってもらうことがあった。
夏のお楽しみ企画会議	6		5	33		17						55	子どもたちが、児童館でやりたいことを話し合って何をするか決めて準備をする。	・やりたいことを積極的に持ち寄って話し合っていた。平日の放課後に集まっておこなうため、日程をおたよりの申込時に記載していたが、メンバーがそろわないことがあった。実行委員の情報共有の方法に工夫が必要。
夏のお楽しみ企画	1		2	9		4						15	子どもたちが決めた内容で役割分担や進行をする。	・「ぶにぶにストラップ」づくりを行う。実行委員は、すずんで予定を確認するなど、やる気を持って取り組めた。当日は、育成室の半分を使っていた。周りが騒がしくて、説明する声が届きにくかった。事前に担当分けをしていたため、自分の役割を頑張っていた。また、手の足りないところに、積極的に助け合っていた。

まつり子どもスタッフ会議	7		14	26	3	1								44	みこしの飾り付けやあそびコーナーの準備を行う。また、当日の役割分担を相談する。	・どんな飾りつけやあそびコーナーにするかを相談し決める。当日は、みこしを担いで地域の方や保護者の方々と地域をまわったり、あそびコーナーの運営を行い、地域との交流の機会となった。
ハロウィンパレード	1	2	13	3	5								12	35	申込制。当日は地域の商店街や山科青少年活動センター、山科区社協など数か所をまわりお菓子をもらう。	・人気が高い行事。地域の110番の場所を覚えられることもあり続けていきたい行事である。当日は、仮装をしての参加が多い。親子一緒に楽しんでいる様子がある。
やんちゃワールド2023	1		5	15	2	2								24	申込制。開催場所の橘大学の体育館へ行き、第4ブロックの児童館のコーナーをまわる。	・各児童館のコーナーに楽しめる工夫があり、楽しいおでかけになった。今年度は、制限があったため、抽選で参加者を決める。当日参加ができるか等の問い合わせがあったため周知方法に工夫が必要だった。
秋のお楽しみ企画「タイムカプセル掘り起こし」	1		1	1	3	1								6	昨年度、埋めたカプセルを掘り起こし、子どもたちへ返却する。	・1年後の自分にあてた手紙や思い出の品に子どもたちも喜んでた。雨などの浸食もなく、綺麗な状態で掘り起こすことができた。
干支の貼り絵作り	13		5	96	3	12								116	地域の民生委員の方や小学校などお世話になっている地域の方々へ気持ちを含めて作る。自分用も作ることができる。	・9回目となる行事で、毎年楽しみにしてくださっている地域の方もおられる。子どもたちは意図を理解し作ってくれている。山科青少年活動センターの「べる活動」でパーツの作成を依頼し、中学生も間接的ではあるが参加する形が作れた。準備等に時間が掛かってしまったため工夫が必要。
クリスマス企画「クリスマス会」	1		20	4	2									26	申込制。クリスマスを感じられる遊びなどで楽しむ。	・クリスマス会でみんなあそびを実施し、にぎやかな会になった。プチプレゼントを持ち帰ってもらう。
冬のお楽しみ企画会議	4		4	20		4								28	子どもたちが、児童館でやりたいことを話し合って何をするか決めて準備をする。	・次年度に向けて、3年生に司会や書記などを担ってもらい進めていく。意見が出せないときは、4年生がアドバイスをしている姿があった。 ・学級閉鎖などの時期と重なり、会議に1度しか出られなかった子がいた。他のメンバーが補い合って進めていった。
お正月遊び	2		3	5		4							1	13	季節を感じられる行事として、羽根つきやジャンボすごろく、百人一首などで遊ぶ。	・はねつき、ジャンボすごろく、福笑い、五色百人一首などを2日間にわけて行った。はねつきやふくわらいは、初めての子もいて季節を感じられる時間になった。
バレンタイン工作	1		9	8	4								2	23	バレンタインのチョコレートを入れる容器を紙コップを使って作る。	・自分で選んだ毛糸でカップケーキのような、メッセージ付き容器を作る。ポンドが乾きにくく、くっつけたものが取れそうになってしまうことがあった。

	冬のお楽しみ企画	1		8	10	2	2					1	23	子どもたちが決めた内容で役割分担や進行をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふゆあそび」を行う。雪合戦のような遊びをしたいとの意見から、安全に行う方法を話し合い実施した。当日の準備も積極的にを行い、進行もそれぞれが自分たちで相談して行う。参加者の振り返りでは、楽しんでくれて嬉しかった。また実行委員をやってみたいとの声もあった。 ・定員数が違っていたので、当日いる人たちへ広報を行って参加者を増やした。
	合 計	238	3	328	697	304	111	85	21	1	0	10	1560		
推 進 活 動															
	合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	子ども育成機能 合 計	238	3	328	697	304	111	85	21	1	0	10	1560		

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

(令和5(2023))年度 児童館事業年間活動報告書 (山階)児童館

活動名	実施回数	参加人数										内 容	成 果 と 課 題		
		乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア					合計	
			自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生	大人				
夕方広場	78	176	1				4	106					287	乳幼児親子に向けた17:00からの遊び場所の提供。	児童館近辺の親子や幼稚園のお迎え後の方の参加が多かった。また、保護者からの相談を聞くこともあり大切な時間となっていた。同じ時間帯で、中高生の利用がある時は、交流する場面も見られたが、お互いのスペースの確保や職員の配置に悩むことがあった。また、おもちゃの消毒や片付け、次の日の活動準備ができないこともあり、工夫が必要。
親子リトミック	12	21						20					41	リトミック教室・音楽教室の講師によるリトミック教室。親子でリズム遊びや音楽遊びを楽しむ。	補助として職員が入っていたが、参加者の人数が少ないと大変さがあったよう。次年度の開催方法について、講師の方と相談していきたい。
アタッチメント・ベビーマッサージ	12	25						25					50	ベビーオイルを使って、ベビーマッサージをする。また講師の方よりアタッチメントのお話を聞ける。	ごろんと寝ている体制で、マッサージなどを行うので、月年齢が高いと動いてしまうため、月年齢の高いお子さんへの配慮が必要。
おもちゃのチャチャチャ	38	375						361					736	おもちゃを用意しておき、自由に遊ぶ。終了10分前から一言に片づけをして体操と名前を呼んでカードを返す。	好きなおもちゃで遊べたり、保護者同士のコミュニティになっている。参加者が多い時があるのでおもちゃの数などで調整した。天気がいい日は人工芝を敷いて外遊びもできるよう工夫した。
ちびくまちゃん	36	367						367			30		764	乳児親子対象。自由あそびの合間に取組を行う。毎月体重測定が出来る日を設定。また季節の取組や読み聞かせも行う。	保護者同士のコミュニティになっている。手形取りや寝相アートなどが好評だった。今年度、山科区社協から紹介があり「親子防災教室」を行う。防災意識を高める時間になった。安全面などから、スペースの見直しや、おもちゃの種類や数などを考慮した。
くまさんクラブ	39	250						251					501	1年間登録制。お家でできない遊びなど、様々な取組を通して、親と子の絆を深め、親同士子ども同士の交流や仲間作りを支援する。	1年間で親子一緒に取り組めることが増えていた。前期は、幼稚園の入園などで退会される人もあったが、途中入会者も多かった。今年度、植物を育てる活動をしたが、課題のあるものだったので、次年度は見直しをして取り組めるようにしたい。
ブラバン工作	1	1						1					2	親子でプラ板を使ったキーホルダー作りを行う。	年度初めで広報ができなかったため、参加者が少なかった。人気の高い取組なので、次年度も広報をして行っていきたい。
ヨガ教室	10	22						29			4		55	大人の方が誰でも参加できる。託児付きのため、子育て中の母にも向けて行っている教室。申込制。	子育て中の大人向けのヨガ。託児があるため喜ばれている。参加者が集まらず、実施できない月があった。ニーズの見直しが必要。
赤ちゃん訪問	3	2						5					7	民生委員さんたちとお家を訪問し、児童館の紹介もさせてもらう。	今年度から同行させていただき、訪問先の保護者へ児童館を知ってもらう機会になった。
育児相談	6	10						6					22	保護者から育児などの相談を受ける。	乳幼児親子さんから高校生までの子育ての不安など質問されることがあった。また、案件が深刻な場合、はぐくみ室や関係各所へつなぎ様子を見守る。
缶バッジ作り	1	8						12					20	写真を持参したり、色塗りや絵を描いて仕上げる。親子一緒に作る。	毎年、参加があり喜ばれている。人気の高い取組なので、広報をして行っていきたい。
人形劇サークルムクムク公演会	1	17						18					35	無料。申し込み制。当日はムクムクさんの公演を楽しむ。	人気の高い企画。観劇や歌・手遊びなどを親子で一緒に楽しめる公演となっている。
子育て講演会「絵本の楽しみ方」	1	12						13			1		26	無料。申し込み制。当日は絵本の楽しみ方の公演を楽しむ。	絵本を読みながら、楽しみ方や読み方など大切なことに気づける人気の企画。今年度は、参加者のおすすめの絵本を紹介してもらい、さらに楽しい時間になった。

子ども家庭

支 援 活 動

動	くまさんクラブ話し合い	6	29										各グループ年2回の話し合いに参加。話し合いの中で取組内容を決めたり、お誕生日カードを決めて制作する。	おしゃべりしながらカード作りをしたり、取組内容を意見を出し合い進めておられた。今後も無理のない範囲で、保護者同士のコミュニティの場にしていきたい。
	ほっこり子育て講座	1	7										ちびくまちゃんの取組内で、はぐくみ室の方をお招きして講座を聞く。	利用された保護者の方にお聞きしてテーマを決める。保育園や幼稚園などの入園について心配されている声があり、食育の話と2本立てで進めた。保護者からの質問もあり有意義な時間になった。
	親子防災教室	1	7										山科区社協の紹介で、ちびくまちゃんの取組として、ミンナソラノシタの方をお招きして講座を聞く。	災害時の簡易トイレの使い方講習や子育て中の方、女性に向けた話もあった。
	合 計	246	1329	1	0	0	0	4	1257	0	0	37	2634	
(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路				件数	相 談 内 容			件数	つないだ機関等		件数
	乳児 幼児 小1～3年(自由来館) 小1～3年(学童) 小4～6年(自由来館) 小4～6年(学童) 中学生 高校生	13 15 2 1 1	児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他				32	健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他			3 1 28	児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他		1 1 2 1
	件数 計	32	-				32	-			32	-		5
	グループ名	構成人数	活 動 内 容				育 成 ・ 支 援 内 容			成 果 と 課 題				
	安朱ティーカップサロン	12	安朱学区の自治会館で、地域の方が、乳幼児親子を対象としたサロンを実施されている。その取組の一部として年3回、移動児童館として実施。				簡単な工作や寝相アートなどを行う。			児童館の広報や活動を知ってもらう機会になった。保護者の方からニーズや子育ての話などが聞くことができた。				
山階ホットサロン	12	山階学区の主任児童委員と協力して、じゃがいも掘り体験とさつまいも掘り体験を実施している。				企画内容の相談、広報・募集・受付・当日の企画運営のサポート・さつまいも苗を発注と預かり、苗植えのお手伝いなど行う。			毎年、自然に触れる機会となっている。親子一緒に収穫体験できることを喜ばれている。収穫までの期間で、草抜きなど大変な作業があるため、できる限りサポートできるようにしていきたい。					
推 進 活 動	活動名	実施回数	活 動 内 容				成 果 と 課 題							
	京都市家庭ごみ有料指定袋 無料引換券の引き換え	随時	新生児向けのごみ袋の引き換えを児童館にて行う				遊びに来られた際、引き換えがしやすい様子がある。また、引き換え時に児童館を初めて知る機会になることもあり、利用につながっている。							
	子育て講座 絵本の楽しみ方	1	花田睦子氏を講師に迎え、乳幼児期の子育て家庭へ向けた取組。絵本の選び方や読み方、絵本を通して育つ力についてお話いただく。				申込が多く、参加された保護者から好評の声が多くあった。							
	プレパパママいらっしや〜い する啓発活動	随時	児童館で作成した、マタニティマークの缶バッジを来館された際に希望された方にお渡しし、児童館の活動を紹介させてもらう。				足を運びやすい環境づくりとニーズを知る機会を増やし、広報をしていく必要がある。							

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動〔①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動〕(2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。

	連 携 団 体 等	連 携 内 容	成 果 と 課 題
(3) 地域との連携を 促進する活動	山階学区民生児童委員協議会	・幼児クラブや子育て支援活動のお手伝いをしていただいている。	・引き続き託児保育の協力など連携をしていく。
	山階学区自治連合会	・毎月のポスターを地域の掲示板に掲示していただいている。	・回覧を見ての問い合わせもあるので次年度以降も協力を依頼する。
	安朱学区自治連合会	・毎月のおたよりを地域回覧していただいている。	
	山階小学校・安朱小学校	・児童館だよりの全校配布、ポスターの掲示 ・教務主任、学級担任との懇談	・おたよりの配布や児童の様子の情報交換など日常的にやり取りしている。今後も継続して必要に応じた連携を図っていく。
	山科子どもはぐみ室	・おたよりや情報の交換	・はぐみだよりに情報の掲載などにより、利用につながっている。
	山科区社会福祉協議会	・よりよい支援、チャレンジ就労体験の受け入れ	・お互いの施設の特徴を活かしあえる関係性を作れている。
	山科警察署	・職員向けの研修の実施	・今年度は職員研修として、不審者対策を実践で教えていただく。
	学童クラブ保護者会	・定例役員会への職員の参加 ・保護者会主催行事・交流会への職員の参加	・館長、厚生員が出席することで役員会との意思疎通を図り、活動を支援した。 ・保護者同士、保護者と職員との関係づくりの場となっている。交流会、じどうかんまつりを実施した。
	山科幼稚園	・ネットワーク連絡会の団体として、日頃から情報交換をおこなっている。	・気になるご家庭があれば、連携できる関係性を作れている。
	山科図書館	・おたよりの交換	・おたよりの配付を通して、関係性づくりを図っている。
	児童館・幼稚園・大学・少年補導・日本ボーイスカウト協会・民生児童委員協議会・女性会・校長会	・「山科はぐみネットワーク実行委員会」親子向け行事の企画・運営	・他団体と連携して行えた。
	山科青少年活動センター	・育成団体として登録。スポーツ室の利用をする。べる活動の依頼。	・べる活動を通して中学生へ児童館の周知に努めた。中学生向けの取り組みについて意見交換をしていきたい。
	NPO法人 山科醍醐こどものひろば	・おたよりや情報の交換	・利用者は子どもの年齢によってひろばと児童館をうまく使い分けている。
	山階児童館・山科商店会・合同福祉センター・山科青少年活動センター・山科区社協・山科中央老人センター・山科デイサービスセンター・山階学区自治連合会・安朱学区自治連合会	・地域のまつり「ぐるっとふれあいまちフェスタin山科」の共催	・情報交換をおこなった。 ・地域一丸となって行う「ぐるっとふれあいまちフェスタin山科」を実施できた。

基本 地 域 福 祉 活 動	(4) 児童館を支える地域組織作り	組織名称	構成団体・個人	会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題	
		山階ホットサロン	山階学区民生児童委員協議会	じゃがいも掘り、さつまいも掘り各1回	山階学区ホットサロンの活動・取組の進め方について	民生児童委員さんと山階学区の子育ての情報共有の機会となった。	
		山階学区子育てネットワーク連絡会	山階自治連・山階学区社協・少年補導協議会山階支部・山階民生児童委員協議会・山階小学校・山科青少年活動センター・山科幼稚園	会議：年3回 5月・8月・2月 研修：年1回 1月	子育て支援ステーション事業と山階学区の子育て支援状況の共有	地域で子どもを見守る組織作りとなった。また研修を通して、地域の見守り力向上を図る。	
		安朱ティーカップサロン	安朱学区民生児童委員協議会	年3回 5月・10月・2月	安朱学区のサロンの活動・取組の進め方について	民生児童委員さんと安朱学区の子育ての情報共有の機会となった。	
		ぐるっとふれ愛まちフェスタ会議	山階児童館・山科商店会・山科合同福祉センター・山科青少年活動センター・山科区社会福祉協議会・山科中央老人センター・山科デイサービスセンター・山階学区自治連合会・安朱学区自治連合会	会議：年3回／ぐるっとふれ愛まちフェスタin山科 年1回 11月	ぐるっとふれ愛まちフェスタin山科の進め方・振り返りについて	地域の方、施設と連携する機会となった。	
		あそぼらんど会議	山科区社会福祉協議会、山科中央老人センター、山科デイサービスセンター	会議：年2回 あそぼらんど：7月・8月	あそぼらんどの進め方・振り返りについて	夏休みの乳幼児親子さんの居場所づくりを協同して進めることができた。	
促 進 機 能 活 動	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使用目的	提供先(団体・機関等)	成果と課題	
		児童館遊戯室	学童クラブ保護者会が親子で楽しめる遊びを企画し、開催するため。		学童クラブ保護者会役員会	保護者と子どもの交流の機会になった。また久しぶりの開催で、保護者会のお仕事をを知る機会にもなった。	
	(6) 地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題
		児童館利用者共通アンケート	児童館改善対策	幼児クラブ登録者/学童クラブ登録児童/学童クラブ登録児童の保護者/自由来館利用者児童/乳幼児のひろば参加保護者	京都市社会福祉協議会	幼児クラブ取組終了後配布し記入/小学生利用時一度集合させ、その場で記入/Googleフォームによる回答	・社協全館で、今年度初めてWebでのアンケートを実施。利用者から貴重な意見をいただくことができた。アンケート結果を今後の事業展開に活かしたい。
		ムクムク公演会実施アンケート	参加者意識調査	参加者	山階児童館	その場で記入、回収	・行事の感想や今後実施してほしい行事について意見を聞くことができた。
		子育て講演会「絵本の楽しみ方」実施アンケート	参加者意識調査	参加者	山階児童館	その場で記入、回収	・行事の感想や今後実施してほしい行事について意見を聞くことができた。
		幼児クラブ年度末アンケート	1年間の振り返り、次年度への意識調査	幼児クラブ登録者	山階児童館	幼児クラブのおおかれ会の日配布。記入の上、回収。	・幼児クラブの取組内容の感想や意見が聞けた。次年度以降の乳幼児保護者向けの事業展開に活かしたい。
		ちびくまちゃん防災教室アンケート	参加者意識調査	参加者	山階児童館	その場で記入、回収	・参加された方から防災について初めて知ったことなどを聞くことができた。今後も定期的に開催したい。
		じどうかんまつりアンケート	参加者意識調査	学童クラブ登録児童/学童クラブ登録児童の保護者	山階児童館	Googleフォームによる回答	・参加した児童・保護者、スタッフとして活動した児童・保護者それぞれの感想や意見を聞くことができた。次年度以降の事業展開に活かしていきたい。

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	じどうかんだより	毎月1回	山階・安楽小学校全校児童と校長・教頭・教務主任・各クラス担任・一般来館者・介助者・ボランティア	学校より児童へ配布 個人配布	毎月の行事予定・参加募集案内、前月の行事の報告等	小学生は親子でおたよりを見て、興味関心のある行事に申込・参加をしている。見やすく分かりやすい紙面づくりを心掛ける。 「乳幼児版」はピンクの用紙に印刷し、「小学生版」との区別しやすくしている。 児童館のHPにPDF形式で掲載している。
	町内会回覧用 じどうかんだより	毎月1回	山階学区・安楽学区内住民	自治連合会を通じて町内回覧	毎月の行事予定・参加募集案内、前月の行事の報告等	多くの地域住民に児童館について、児童館での取り組みや行事について知ってもらう機会になっている。
	山階学区掲示板用ポスター	毎月1回	山階学区内住民	民協を通じて町内掲示板への掲示	毎月の行事予定・参加募集案内、前月の行事の報告等	民協の会議に合わせて発行するようにする。掲載内容を整理して、見やすく分かりやすい紙面づくりをする。
	ラクト地下通路掲示板	常時	地域住民	ラクト地下通路掲示板への事業案内掲示	毎月の各行事の案内・参加募集・子どもの作品 等	定期的に掲示物を貼り替えることで、掲示板を見て事業を知り、参加へとつながっている。児童館の取り組みや事業をアピールできる場として定着している。
	くまさんクラブだより (登録制幼児クラブおたより)	年11回	くまさんクラブ登録者	幼児クラブ受付にて配布	月々の行事予定、次回の取組内容、子どもの発達や子育てに関する情報等	次回の取組などの記載があるため、おたよりを見て次回の日程や持ち物を確認できるものになっている。
	幼児クラブ冊子	年1回	幼児クラブ登録者	はじめの会にて個人配布	幼児クラブについての説明、年間スケジュール、グループ分け等	毎年はじめの会にて冊子を見ながら説明をしている。年間予定も載せているのでみなさん目を通してくださる。
	さんかいじどうかん利用案内 (児童館パンフレット)	年1回	一般利用者・安祥寺中学校 等	個人配布	児童館の利用案内 等	社協の統一様式で作成。
	ホームページ活用	随時	一般利用者 等	児童館ホームページにて	児童館の利用案内、行事予定 等	児童館の取り組みの紹介、じどうかんだよりなどを随時更新するようにした。
	山階小学校・安楽小学校への掲示	毎月1回	山階・安楽小学校全校児童	学校掲示板にて児童向けの事業案内掲示	毎月の行事予定・参加募集案内	掲載する内容を整理して見やすい構成になるようにした。
	山階児童館広場前掲示板	毎月1回	近隣住民	掲示板に掲示	児童館の活動の様子を紹介	掲示板前で立ち止まり、見てくださる方が増えた。児童館の活動の様子を住民の方に知ってもらう機会になった。
	Instagram活用	週に1～2回	一般利用者等	Instagramにて	児童館の活動の様子や広報、家で楽しめる遊びや工作の紹介	日々の児童館の様子を伝えることができ、児童館利用の促進につながっている。しかし、今年度は更新を定期的におこなえなかった。